学校番号	329

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「MOUSA１」　（教育芸術社）						
副教材等	MUSIC　NOTE　（啓隆社）音楽通論（教育芸術社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科音楽の目標は、ただ歌ったり、演奏したりする技能を高めるだけでなく、その背景となる様々な要素を学習することにより、幅広い表現力や鑑賞態度を高めていくことです。いろいろな分野を横断して知識を得て思考することは、主体的に物事に取り組む力と音楽を生涯を通じて楽しむ力を得ることができるでしょう。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通じて、音楽の見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽文化と幅広く関わる脂質・能力を育成する。

1　曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり　音楽の多様性について理解する。創意工夫を生かした音楽表現をするために、必要な技能技術を身につける。

2　自己のイメージを持って音楽表現を工夫する。根拠を持って音楽を鑑賞評価でき　音楽の美しさを自ら味わって鑑賞できる。

3　音楽と生活社会とのかかわりについて考え、音楽の知的財産権を尊重する態度の形成を図る。

4　主体的協働的に、音楽活動に取り組むことができる。生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む。わが国独自の伝統音楽や民俗芸能の良さを感受し、他地域　他国との違いや共通性に気付く能力を磨き、音楽によって生活や社会を豊かにしてゆく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的歴史的背景などとのかかわり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ歌唱　器楽鑑賞　創作で表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと、感受したこととのかかわりについて考え、どのように表すかについて、表現意図を持ったり、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聞いたりしている。	・主体的協働的に、表現及び鑑賞　創作の学習活動に取りくもうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	いろいろな歌に親しもう	・校歌　J-pop　日本の歌 外国の歌など ・曲種に応じた発声 ・歌詞の意味を調べ、味わって表現活動に生かす。	a:様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 b:それぞれの歌のリズム、メロディを知覚し自己のイメージを持って歌おうとする思いや意図を持っている。 c:音楽活動を楽しみながら、主体的協働的に歌唱の学習活動に取り組んでいる。	観察 聴取 プリント	観察 聴取 プリント	観察 振り返り ノート
	楽譜についての基礎知識①	・楽譜の読み方や書き方を知り、表現に生かすことを意識する。 ・基礎的な楽語を身につける。	a:楽譜に基づいて、表現に繋げるために必要な事項を理解している。 b:音　リズム　構成をもとに、それらの働きを感受しながら、実際に活用できる。 c:楽譜の基礎（楽典）を学習することにより、音楽活動に興味関心を持ち、主体的　協働的に学習活動に取り組んでいる。	観察 聴取 プリント	小テスト	観察 聴取 プリント
	鑑賞とプレゼンテーション	・日本固有の音楽について学び、鑑賞する。 ・諸外国の特徴ある音楽について学習し鑑賞する。	a:世界各地の音楽の特徴と文化的歴史的背景との関りをもとに音楽表現の共通性や違いを考え理解している。 b:音色　リズム　速度　メロディ　テクスチュア　形式　構成を知覚し感受したこととのかかわりについて考えることができる。 c:音楽　楽器　表現の効果　特徴　文化や他の芸術との関りに関心を持って主体的に学習活動に取り組もうとしている。	観察 聴取 レポート	観察 聴取 発表	観察 聴取 レポート

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
二学期	いろいろな国の歌を歌おう	・英語　イタリア語　ドイツ語の歌を歌ってみよう。 ・謡に挑戦してみよう。	a:様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 b:それぞれの歌のリズム、メロディを知覚し自己のイメージを持って歌おうとする思いや意図を持っている。 c:音楽活動を楽しみながら、主体的協働的に歌唱の学習活動に取り組んでいる。	観察 聴取 プリント	観察 聴取 プリント	観察 聴取 プリント
	創作表現の探究①	・メロディにハーモニーやベースパートを加えてみよう。 ・音程やコードネームを理解しよう。	a:音を重ねた時の響きや特徴について理解し調和するコードを選ぶことができる。 b:自己のイメージを持ってベースやコードを創作表現に活用できる。それらの働きを感受しながら、実際に活用できる。 c:メロディ　ハーモニー　ベースの役割を学習することにより、音楽活動に興味関心を持ち、主体的　協同的に学習活動に取り組んでいる。	観察 聴取 プリント	観察 聴取 プリント	観察 聴取 プリント
	ギターの楽しみ	・ギターの正しい奏法を身につけ TAB 譜やコード表を見ながら演奏しよう。	a:曲想とギターの音色や奏法の関りについて理解している。 器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法や体の使い方などの技能を身につけ表現している。 ｂ：音楽の要素と働きを感受しながら知覚した事との関わりについて考え表現意図を持っている。 C:曲想とギターの音色や双方のかかわりに関心を持ち主体的。協同的に学習に取り組もうとしている。	観察 聴取 プリント	観察 聴取 プリント	観察 聴取 プリント

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
三学期	ヴォイス アンサンブル	・ハーモニーを感じて合唱してみよう。 ・カノンを楽しもう。 ・インドネシアのケチャを体験しよう。	a:様々な表現形態による、歌唱表現の特徴を理解している。他者との調和を意識している。 b:音楽の要素を深く理解し、意図をもって表現している。 c:自分たちの表現を作るために他者を意識しながら主導的　協働的に取り組んでいる。	観察 聴取	発表 プリント	観察 聴取 プリント
	器楽アンサンブル	・曲の特徴を感知し、パートの役割を理解して、アンサンブルをする。 ・音色や楽器の特徴を生かす工夫をする。	a:音色による表現の特徴を理解して奏法に生かし曲にふさわしい表現を意識している。 b:音楽の要素を深く理解し、意図をもって表現している。 c:自分たちの表現を作るために他者を意識しながら主体的　主導的　協働的に取り組んでいる。	観察	発表 プリント	観察 聴取 進度レポート
	ミュージカルオペラについて	・総合芸術における音楽の魅力を学び鑑賞する。表現してみる。	a:いろいろな総合芸術の種類について意欲的に自ら調べ特徴を理解している。 b:音楽表現の共通性または差異、特徴について根拠をもって表現に生かそうとしている。 c:総合芸術において物語と音楽がかかわりあいながらどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化的要素がかかわって発展してきたか、等多岐にわたって関心を持ち、音楽活動に主体的に取り組んでいるか。	学習プリント	発表 プリント	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度